

<第4議案>

## 2009年度収支予算（案）

15ページの2009年度収支予算書をもって、2009年度収支予算とする。

<説明>

2009年度収支予算のポイントは以下の通りである。

※ 以下、増減は、2008年度決算額との比較

2009年度は、常勤スタッフ2人体制の継続を前提に、当年度収支差額39万円の赤字を見込む。したがって、2008年度からの繰越金約141万円は、2009年度末には約102万円になる（ここでいう繰越金には、将来計画のため留保している大口寄付分は含まない）。年会費増をはじめ、ここにあげられた会費収入、事業収入、寄付金収入はすべて意欲的な見積もりであり、収入増、経費削減における相当の努力が必要である。

### 1. 会費収入について

会費収入全体は約53万円の収入増を見込んでいる。会員・購読者数の正味増を賛助会員相当で40口と見積もっており、予想される退会者、購読中止者の数を勘案すると、目標達成のためには、新規会員・購読者80名程度を獲得しなければならない。会員一人一人に新規会員・購読者の獲得にご協力いただくことを前提としつつ、メリハリのある努力を継続する。

### 2. 事業収支について

事業収入は約52万円の増、支出は約5万円の減を見込む。2008年度に実施できなかったブックレットの出版による収入増などに拠るものである。

収入：

- ・イアブックでは、「2009年版」作成により収支黒字42万円（収入182万円、支出140万円）を見込む。「2008年版」の繰り越し販売で、前年比約12万円増の49万円を見込む。
- ・ブックレット作成により収支黒字4万円（収入30万円、支出26万円）を見込む。
- ・2007年度同様、100万円の助成金収入を見込む。
- ・宜野湾市からの調査委託事業は2009年度も継続しているが（2008年7月～2009年3月）、会計年度のずれから生じる複雑さを避けるために別会計扱いとしており、予算案に含めていない。
- ・同じく別会計扱いとして、将来計画資金会計から約30万円の支出を見込む。

支出：

- ・2008年度においては、10周年記念シンポのため、例外的に「公開講演会・セミナー」費が大きく膨れ上がった。これを例年通りと見込む。

### 3. 管理費について

給与・手当については、1月からの常勤スタッフ2人体制を前提とし、約27万円の支出増を見込む。旅費交通費、消耗什器備品費、印刷製本費など様々な節約の努力をした上で、管理費全体で約19万円の減を見込む。